

1号案件「アライブロバンス浦安」竣工 チャレンジ精神1位の不動産カンパニーへ アライブロバンス

アライブロバンスは10月28日、千葉・浦安市の浦安鉄鋼団地で同社開

発第1号案件「アライブロバンス浦安」の竣工式を執り行い、関係者100人超が訪れた。
同社は2020年に製造業から不動産業へと転身、前身の新井鉄工所・



アライブロバンス浦安

浦安工場跡地の敷地面積1万4878平方メートルに4階建て延べ床面積3万4598平方メートルのマルチテナント型施設を開発した。倉庫スペースの約半分となる2・3階を日通・NPロジスティクスが入居し、ハイテク製品のデポとして活用する。



新井嘉喜雄社長

NPロジスティクスが入居し、ハイテク製品のデポとして活用する。神事後の祝賀会では、新井嘉喜雄社長は「最新機能・設備を整えたほか、弊社のモットーである遊び心を加え、心安らぐ憩いの空間として3つの庭を創った。これからもチャレンジ精神ナンバー1の総合不動産カンパニーを目指す」と述べた。



新井太郎専務

「最新機能・設備を整えたほか、弊社のモットーである遊び心を加え、心安らぐ憩いの空間として3つの庭を創った。これからもチャレンジ精神ナンバー1の総合不動産カンパニーを目指す」と述べた。

指す」と力強くあいさつした。祝賀会では施工の西松建設・高瀬伸利社長と、建築家・菅原大輔氏が登壇、トークセッションを行った。



海の庭

物流施設らしからぬ南国情緒あふれる風景が、菅原氏の狙い通りに内覧者を圧倒した。
アライブロバンスは海の庭、施設前バス待合所を「道の庭」、四季折々の花を植栽する「四季の庭」のユニークなデザイン性を全面に押し出し、物流施設で異例となるグ



道の庭

ッドデザイン賞を狙う。中締めで新井太郎専務は「小回りの効く独自性を徹底追及し、ワクワクしてもらえような事業展開をしていきたい」と述べた。
同社2号案件は東京・江戸川で大型物流施設の第一期工事を着工する計画。